

2008年 1月～12月学術活動

《論文発表》

No.1

著者名	論文名	雑誌名	診療科
Kazuya Ooi, Hiromi Sakai, Naoki Yoshizawa, Tetsusi Sugawa, Soichiro Kimura, Hideo Ueda, Sachihiko Numajiri, Saori Kojima, Toshiya Katayama, Yasuhide Mizutani and Yasunori Morimoto	Influence of Skin Hydration on Anesthetic Effect of Lidocaine Tape in Hemodialysis Patients	Jpn. J. Pharm. Health Care Sci. 34 1011-1016 (2008)	内科
梅枝 覚	直腸脱の診断と治療	臨床外科 増刊号 Vol63. No11 709-725 2008	外科
Yamamoto T, Maruyama Y, Umegae S, Matsumoto K, Saniabadi AR.	Mucosal inflammation in the terminal ileum of ulcerative colitis patients: Endoscopic findings and cytokine profiles.	Dig Liver Dis 2008; 40: 253-9.	〃
Simillis C, Yamamoto T, Reese GE, Umegae S Matsumoto K, Darzi AW, Tekkis PP.	A meta-analysis comparing incidence of recurrence and indication for reoperation after surgery for perforating versus nonperforating Crohn's disease	Am J Gastroenterol 2008; 103: 196-205.	〃
Reese GE, Nanidis T, Borysiewicz C, Yamamoto T Orchard T, Tekkis PP.	The effect of smoking after surgery for Crohn's disease: A meta-analysis observational studies.	Int J Colorectal Dis 2008; 23: 1213-21.	〃
Morishita Koichiro; Kasai Yuichi; Uchida Atsun	Hypertrophic change of facet joint in the cervical spine.	Int.medj ofex.&clin.Res, 14(2):CR62-64, 2008	整形外科
Morishita Koichiro; Kasai Yuichi; Uchida Atsun	Clinical symptoms of patients with intervertebral vacuum phenomenon.	The neurologist, 14(1):37-9, 2008	〃

《学会発表》

No.1

発表者名	演題名・学会名	開催月・開催地	診療科
中川直樹・井谷俊夫・豊田長仁・中島滋人・中尾一之 木村光政	甲状腺乳頭癌術後16年を経過して発症した膵転移の1切除術 第50回 日本消化器病学会大会	10月・東京	内科
中川直樹	治す C型肝炎 ここまで進んだC型肝炎の最新治療と実際 日本肝臓学会市民公開講座	4月・四日市	〃
中島滋人・井谷俊夫・豊田長仁・中川直樹・中尾一之 木村光政	慢性膵炎の内視鏡治療 第76回 日本消化器内視鏡学会総会	10月・東京	〃
特別講演:山本隆行	クローン病における長期緩解を目指した栄養療法 ～最新のエビデンスを求めて～ 第11回日本病態栄養学会年次学術集会	1月・京都	外科
受賞講演:山本隆行, 中東 真紀, Abbi Saniabadi, 岩田 崇,丸山 泰貴, 梅枝 覚, 松本 好市	緩解期クローン病患者における長期の経腸栄養療法の臨床的および 内視鏡的効果と粘膜内のサイトカイン産生におよぼす影響について:前向き比較試験 第23回日本静脈経腸栄養学会	2月・京都	〃
シンポジウム:山本隆行	「クローン病の長期予後:本邦のエビデンスを求めて」: 緩解期クローン病に対する長期経腸栄養療法の臨床的および内視鏡効果 :前向き比較試験 第94回日本消化器病学会総会	5月・福岡	〃
Takayuki Yamamoto, Byung Seok Kim, Rikesh Parikh, Scott A. Strong, Jennifer Moench, Stacie L. Pallotta, Elena Manilich, Victor W. Fazio	Intestinal carcinoma in Crohn's disease: Clinicopathological features and surgical outcome	June 7-12, 2008 Boston, U.S.A.	〃
ランチョンセミナー:山本隆行	「顆粒球吸着療法による炎症制御の意義」: 潰瘍性大腸炎患者の大腸粘膜における顆粒球吸着療法の炎症抑制作用について :内視鏡所見と粘膜サイトカイン産生量の検討 第53回日本透析医学会学術集会・総会	6月・神戸	〃

発表者名	演題名・学会名	開催月・開催地	診療科
パネルディスカッション 山本隆行, 梅枝 覚, 松本好市	「クローン病の手術適応と再燃をめぐって」: クローン病における初回手術時の手術適応(穿孔型/非穿孔型)と術後再発率 および再発形式との関連 -Meta-Analysis- Japan Digestive Disease Week (JDDW) 2008	10月・東京	〃
ワークショップ 山本隆行, 梅枝 覚, 松本好市	「絞扼性イレウスの早期診断」: 腸閉塞患者において血漿サイトカインの測定は腸管絞扼の早期診断に有用か? ～前向き臨床試験～ 第70回日本臨床外科学会総会	11月・東京	〃
特別口演 Takayuki Yamamoto	Invited Lecture: Crohn's disease of the colon including anorectal disease Colorectal Congress	5-Dec-08 St. Gallen, Switzerland	
梅枝 覚, 肥満智紀, 山崎 学, 岩永孝雄, 山本隆行 野地みどり, 北川達士, 松本好市	消化器外科医必見の肛門疾患ベストリートメント 第63回 日本消化器外科学会総会	7月・札幌	外科
梅枝 覚, 松本好市, 北川達士, 野地みどり, 山本隆行 石井雅昭, 肥満智紀, 坂倉康文, 山崎 学	大腸肛門病・IBDセンターの現状 第16回 日本社会保険医学会総会	10月・松山	〃
梅枝 覚, 山崎 学, 肥満智紀, 岩永孝雄, 山本隆行 野地みどり, 北川達士, 松本好市	当院における前側方痔瘻の手術手技 第63回 日本大腸肛門病学会学術総会	10月・東京	〃
梅枝 覚, 山崎 学, 肥満智紀, 岩永孝雄, 山本隆行 野地みどり, 北川達士, 松本好市	当院における直腸脱に対するDelorme法の検討 第63回 日本大腸肛門病学会学術総会	10月・東京	〃
梅枝 覚, 山崎 学, 肥満智紀, 岩永孝雄, 山本隆行 野地みどり, 北川達士, 松本好市	当院における痔核治療の変遷 第63回 日本大腸肛門病学会学術総会	10月・東京	〃
梅枝 覚, 山崎 学, 山本隆行 野地みどり, 北川達士, 松本好市	当院で行われている直腸瘤に対する経膈的手術手技 第70回 日本臨床外科学会総会	11月・横浜	〃

発表者名	演題名・学会名	開催月・開催地	診療科
尾辺利英、の村信介、藤本美香、田之上明子、村田智 井阪直樹、水谷安秀、伊藤正明	塩酸バラシクロビアによる意識障害の2例 第53回日本透析医学会総会	6月・神戸	内科
高橋大輔、加藤裕介、斎藤大地、山田泰弘、水谷安秀	ソノクロットの基礎的検討 第53回日本透析医学会総会	6月・神戸	〃
川村美奈子、古賀悦子、林恵美子、水谷弘美、 水谷安秀	負担の少ないPET(腹膜平衡試験の検討) 第53回日本透析医学会総会	6月・神戸	〃

《その他の発表》

No.1

発表者名	演題名・会の名称	開催月・開催地	診療科
中川直樹	C型肝炎の最新治療について「C型慢性肝炎とその治療～抗体陽性から治療後まで」 四日市医師会 学術講演会	10月・四日市	内科
中川直樹	造影超音波検査の肝画像診断における有用性と役割	7月・四日市	内科
水谷安秀、加納康子、郡山奈穂子、原和弘	二次性副甲状腺機能亢進症におけるイオン化Ca値の検討 第11回東海ROD研究会	9月・名古屋	〃
上田康博、安田芳樹、加藤正彦、馬場博次、水谷安秀	最終透析液の細菌数測定法が測定結果に及ぼす影響について 第45回三重県透析研究会	2月・津	〃
高橋大輔、加藤裕介、水谷安秀	ソノクロットの使用経験 第45回三重県透析研究会	2月・津	〃
水谷安秀、加納康子、森岡浩平、大村崇	ネフローゼから脱した糖尿病性腎症の一例～糖尿病性腎症への一考察～ 第2回三重大学合同内科集談会	7月・津	〃
水谷安秀	「検尿異常」～どんなときに病院を紹介するのか？～ 第18回病診連携カンファランス	3月・四日市	〃
黒部勇輔・中川直樹・井谷俊夫・豊田長仁・中島滋人 中尾一之・杉浦 武・木村光政	著明な肝逸脱酵素の上昇を認めた甲状腺機能低下症の一例 三重大学内科集談会	7月・津	〃
梅枝 覚	痔疾患の診断と治療 三泗地区薬剤師勉強会	1月・四日市	外科
梅枝 覚	肛門クローン病の検討 第14回 三重県クローン病研究会	1月・津	〃
梅枝 覚	クローン病の診断と治療 味の素ファルマ 講演	2月・名古屋	〃

発表者名	演題名・会の名称	開催月・開催地	診療科
梅枝 覚	難治性再発痔瘻の4例 第81回 近畿肛門疾患懇談会	2月・大阪	〃
梅枝 覚、山崎 学、松本好市	痔核結紮切除術LEをより侵襲の少ない手技にするための工夫について 第3回 内痔核脱肛治療法研究総会	3月・東京	〃
梅枝 覚、山崎 学、肥満智紀、岩永孝雄、 野地みどり、北川達士、松本好市	当院における痔核のスタンダード手術 第32回 東海肛門疾患懇談会	3月・名古屋	〃
梅枝 覚	クローン病の痔瘻の処置について 第5回 クシャーラ・ストラ研究会	4月・富山	〃
梅枝 覚	痔核に対する治療法の選択と手術手技の工夫について 第27回 岐阜大腸肛門疾患懇談会	5月・岐阜	〃
梅枝 覚	オストメイトに対する日本オストミー協会顧問医の現状について 平成20年度 友愛会総会	6月・津	〃
梅枝 覚、山本隆行、松本好市、北川達士、野地みどり 岩永孝雄、山崎 学、肥満智紀、坂倉康文	HALS法による腹腔鏡下大腸全摘術 第19回 東海外科治療研究会	6月・名古屋	〃
梅枝 覚	司会（クローン病における外科治療の実際と今後の課題：筑紫病院 外科 二見喜多） 第2回 NINJA	7月・四日市	〃
梅枝 覚、山崎 学、坂倉康文、肥満智紀、石井雅昭、 山本隆行、野地みどり、北川達士、松本好市	排便造影検査の有用性について 第33回 東海肛門疾患懇談会	7月・静岡	〃
梅枝 覚、山本隆行、松本好市、北川達士、野地みどり 石井雅昭、肥満智紀、坂倉康文、山崎 学	当院におけるクローン病に対するインフリキシマブ治療の現状 第6回 三重IBD研究会	7月・津	〃

発表者名	演題名・会の名称	開催月・開催地	診療科
梅枝 覚	潰瘍性大腸炎の診断と治療 味の素ファルマ 講演	8月・名古屋	外科
梅枝 覚、山本隆行、松本好市	特発性慢性便秘症にて大腸全摘術を施工した一例 第14回 大腸肛門機能障害研究会	9月・東京	〃
梅枝 覚、山本隆行、松本好市、北川達士、野地みどり、石井雅昭、肥満智紀、坂倉康文、山崎学	クローン病に対するインフリキシマブ治療の現状 第171回 大腸肛門病懇談会	9月・名古屋	〃
梅枝 覚、坂倉康文、肥満智紀、山崎 学、石井雅昭、山本隆行、野地みどり、北川達士、松本好市	痔核に対するPPH法の現状 第3回 内痔核・脱肛治療法研究会学術集会	11月・東京	〃
梅枝 覚	肛門疾患の診断と治療 社保・国保審査委員学術講演会	12月・大阪	〃
森下浩一郎	「内視鏡視下ヘルニア摘出術」 三重北骨折研究会、	1月・四日市	整形外科
森下浩一郎	「腰痛の保存治療について」 四日市社会保険病院カンファレンス、	1月・四日市	〃
森下浩一郎	「腰椎分離症について」 ShareSpine 北勢地区脊椎勉強会、	2月・四日市	〃
森下浩一郎	「腰椎変性疾患の保存治療の考え方」 みえ脊椎を語る会 夏期セミナー、	8月・鈴鹿	〃

発表者名	演題名・会の名称	開催月・開催地	診療科
森下浩一郎	「腰椎後側方固定術について」 Spine Local Seminar Tokai、	10月・名古屋	整形外科
森下浩一郎	「整形外科における投薬の工夫、飲み方について」 四日市薬剤師会研修会、	10月・四日市	〃
森下浩一郎	「整形外科における難病の治療、病院での治療の意味と症状との付き合い方について」 三重県難病医療講演会、	10月・四日市	〃
森下浩一郎	「マスコミの渦の中で」 モーラスパップ発売20周年記念講演会、	11月・四日市	〃

その他

1. 山本隆行

[学会報告: クロウン病における初回手術時の手術適応\(穿孔型/非穿孔型\)と術後再発率および再発形式との関連 — Meta-Analysis —](http://web-gi.net/gakkai/ddw/ddw07_a.html)

http://web-gi.net/gakkai/ddw/ddw07_a.html

Web-GI 消化管領域情報サイト, ユーシービージャパン株式会社

2. 山本隆行

炎症性腸疾患 : クロウン病の手術適応と術後再発率および再発形式との関連

JDDW 2008レポート, ユーシービージャパン株式会社

3. 山本隆行

Conference Report: 樹状細胞やサイトカインの変化が機序に関与 明らかになってきたGCAPの炎症制御

Japan Medicine No.1277 / 12面 2008年6月30日発行

著書(分担執筆)

1. Takayuki Yamamoto

Crohn's disease: Aetiology, pathology, diagnosis and medical treatment

Surgery of the Anus, Rectum & Colon

The 3rd Edition

Editors: Michael RB Keighley and Norman S Williams

Saunders Elsevier

2. Takayuki Yamamoto

Surgery for intestinal Crohn's disease and postoperative management for prevention of recurrence: Current evidence

Crohn's Disease: Etiology, Pathogenesis and Interventions

2008 4th Quarter

Editor: Jack N Cadwallader

Nova Publishers